

第2回 棟方志功記念館建物利活用意見聴取会議について

1 会議概要

- 日 時 令和7年12月26日（金）14時00分～
- 場 所 リンクモア平安閣市民ホール 1F 会議室（1）
- 案 件 棟方志功記念館の利活用イメージについて
- 出席委員等 7名（委員6名及びオブザーバー1名）
 - ・出席委員 池田 亨（一般財団法人棟方志功記念館 顕彰推進アドバイザー）
石田 完（松原町会 会長）
佐々木 淳一（学校法人青森山田学園 青森大学副学長）
杉本 康雄（一般財団法人棟方志功記念館 理事長）
成田 耕造（青森商工会議所 常議員、
情報・教育文化部会ワーキンググループ 座長）
三橋 信子（東青地区中学校教育研究会美術部会 会長、
青森市立造道中学校 校長）
 - ・欠席委員 成田 幾末（社会福祉法人青森市社会福祉協議会 会長）

2 委員からの御意見概要

- ・実際の作品を展示するということであれば、設備に関しては、作品の保存やセキュリティ、室温の管理などの環境づくりをある程度しっかりやることが前提になる。
- ・最近、教育版画が注目されており、全国各地で展覧会が開催されている。青森市の持っている教育版画の資料がなかなか一般に紹介されていないので、きちんと調査した上で、展示してはどうか。
- ・新しいものと古いものが混ざった展示室（内装）になることを危惧している。予算次第だと思うが、全部きれいにして、スペースを自由に使えるようにしてもらいたい。
- ・庭園については、旧市民図書館側にある石庭も含め、庭全体の見せ方や整備の行い方を検討した方がよい。
- ・前回提出した意見が反映されており、利活用イメージについて異論はない。
- ・予算も限られるので、優先順位のもと整備していったほしい。
- ・新しい施設はとても魅力があり、小学生から中学生まで、校外学習でも活用できるのではないかと思う。学校の先生が子供たちを連れて行ったときに、各学年でどこを見ればよいかなどのガイドが必要だと考える。
- ・彫刻刀を使う小学3年生から施設で充実した体験ができれば、もしかしたら画伯より有名な版画家が生まれるかもしれないので、ぜひ進めてほしい。

3 第3回会議について

1月19日（月）に開催済み

※2月に開催予定の常任委員協議会において報告予定